

平成18年度当初予算 施策別概要

325 感染症対策の推進

(主担当部：健康福祉部)

32501 感染症危機管理体制の確保 (健康福祉部)

32502 感染症予防および治療体制の充実

(健康福祉部)

32503 感染症対策の研究の推進

(政策部)

< 施策の目的 >

(対象) 県民一人ひとりが

(意図) 感染症の被害から守られている

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
一、二、三類感染症 の集団発生事例数	目標値	0	0	0	0
	実績(見 込み)値	0	2	0	-

県内における一、二、三類感染症の集団発生事例の数

< 平成18年度に残っている課題 >

平均寿命が長くなり感染症に対する抵抗力の弱い高齢者や慢性疾患を持つ人が増加しています。このような中、新たな感染症の発生や海外渡航者の増加による輸入感染症などの国内への侵入が危惧されており、感染症対策の充実が求められています。

高病原性鳥インフルエンザが世界各地で発生しており、人への感染事例も多発しています。さらに、このインフルエンザウイルスの変異による新型インフルエンザの発生が危惧されており、その対応が特に重要です。

感染症対策のより一層の充実を図るため、保健所の検査機能の強化や職員の知識・技術力の向上、より効率的な事業実施を図る必要があります。

< 平成18年度の施策の取組方向 >

感染症の発生の動向を調査し、三重県感染症情報センター(科学技術振興センター保健環境研究部内)ホームページ、報道発表等により、県民、医療機関、関係施設に感染症発生情報を迅速に提供するとともに、三重県予防接種センターの運営により、県民がより安心して予防接種を受診できる体制を確保します。

また、第二種感染症指定医療機関の病床確保に努めるとともに、入院勧告を行った感染症患者に対する支援を行います。

その他、結核患者への治療費助成や結核講習会の開催、学校等との協力によるエイズに関する啓発活動や保健所での相談・指導、検査など、感染症のまん延防止に向けた啓発事業等を実施します。

「三重県新型インフルエンザ対策行動計画」に基づき、新型インフルエンザ対策に取り組みます。

「三重県感染症予防計画」に基づき、保健所の検査機能の充実を図り、検査所要期間の短縮と技術レベルの高度化を図ります。

<主な事業>

防疫対策事業【基本事業名：32501 感染症危機管理体制の確保】

当初予算額： 39,725千円 205,202千円

事業概要：新型インフルエンザ等感染症の発生予防とまん延防止を図るため、抗インフルエンザウイルス薬の備蓄を行うほか、感染症法に基づき、診査協議会の運営、第2種感染症指定医療機関の運営費補助、保健所での行政検査等を実施します。

(新)保健所検査機能センター化特別事業【基本事業名：32501 感染症危機管理体制の確保】

当初予算額： -千円 15,266千円

事業概要：年々高度化、迅速化が求められている感染症及び食品の検査に適切に対応するため、検査機器と要員を一元化することにより、保健所の検査機能を強化します。

結核対策事業【基本事業名：32502 感染症予防および治療体制の充実】

当初予算額： 6,920千円 6,885千円

事業概要：結核のまん延を防ぐため、患者等への訪問及び行政検査、服薬支援事業、高危険群（高齢者、入所施設等）への健康教育などを実施します。

エイズ等対策【基本事業名：32502 感染症予防および治療体制の充実】

当初予算額： 5,851千円 7,138千円

事業概要：エイズのまん延防止を図るため、各保健所における啓発事業、抗体検査、世界エイズデーに合わせた啓発事業等を実施します。また、性感染症、B型・C型肝炎の検査を行います。

感染症対策技術開発費【基本事業名：32503 感染症対策の研究の推進】

当初予算額： 2,678千円 2,179千円

事業概要：感染症対策に関する優先研究課題を解決し、その発生予防とまん延防止を図るため、麻しん・風しんの制圧を目指した予防接種に関する研究、腸炎ピブリオ等食中毒起因病原体、動物由来病原体に関する調査研究を行います。